

日本機械学会（2019年度年次大会）理事会企画オーガナイズドセッション  
「機械・インフラの健全性評価」共催

日本機械学会 2019 年度年次大会において、日本非破壊検査協会は共催にてオーガナイズドセッションを実施します（<https://www.jsme.or.jp/20190123/> 参照）。

(1) 開催概要

開催日：2019年9月8日（日）～11日（水）＜日本機械学会（2019年度年次大会）＞

※オーガナイズドセッションの開催日時は5月中旬頃に決定（予定）

会場：秋田大学 手形キャンパス（〒010-8502 秋田市手形学園町1番1号）

主催：（一社）日本機械学会

(2) スケジュール ＜重要な日程＞

※日程につきましては、変更となる場合があります。

最新のスケジュールにつきましては、日本機械学会のHP（<https://www.jsme.or.jp/20190123/>）を参照ください。

- ・講演発表申し込み締切 3月4日（月）
- ・講演原稿提出締切 7月22日（月）
- ・事前登録期間 6月上旬～8月中旬
- ・講演論文集 WEB 事前公開日 9月2日（月）

(3) オーガナイズドセッション「機械・インフラの健全性評価」

【オーガナイザー】

主査：井原郁夫（長岡技術科学大学）、井上裕嗣（東京工業大学）、梶原逸朗（北海道大学）、笠井尚哉（横浜国立大学）、藤原浩幸（防衛大学校）、有坂寿洋（日立製作所）、富澤泰（東芝）、三原毅（東北大学）、塩谷智基（京都大学）

インフラ構造物、大型プラント、交通・機械システムなどの予防保全は、安全な社会を維持するための基本である。しかし、その実施には莫大な費用と人手が必要であり、維持・管理手段の抜本的な技術革新が喫緊の社会的課題となっている。より確かな予防保全は対象物の健全性を効率よく継続的に評価することが前提となり、その技術開発には機械工学と他分野との学際的協働がとりわけ必要となっている。このような状況を鑑み、本会では部門の枠を超え、日本非破壊検査協会と連携したOS「機械・インフラの健全性評価」を企画した。

機械・インフラの健全性評価を横糸とする幅広い分野からの講演に加えてパネルディスカッションを交えることで、当該課題に関する多彩な議論を展開する。機械工学をベースとした健全性評価はもちろんのこと、それに囚われない幅広い視点からの研究発表ならびに技術開発や現場適用に関する事例報告なども広く募集する。

(4) 講演及び参加申込み方法 **【重要】**

※下記手続きを行うことで、本OSに講演申込をするJSNDI会員の参加登録料はJSME会員と同額になります。聴講参加のJSNDI会員の参加登録料もJSME会員と同額です。

☆講演申込方法（JSME講演申込サイト <https://www.sasj2.net/MAS/jsme/welcome> にて）

- ・カテゴリ選択の際にOS「J401 機械・インフラの健全性評価」を選択し、
- ・会員資格「1 日本機械学会正員」または「2 日本機械学会学生員」を選択の上、
- ・会員番号「999999」（9を七つ）と入力してください。

☆参加登録（6月上旬に事前申込受付開始）

- ・講演申込と同様に「日本機械学会正員」または「日本機械学会学生員」を選択の上、
- ・「999999」と入力していただくと、JSME会員と同じ参加登録料となります。

■申込みに関するご質問等

一般社団法人日本機械学会 総合企画グループ 橋口

TEL:03-5360-3505, FAX:03-5360-3509, e-mail: hashiguchi@jsme.or.jp

以上